

Feature Articles

放送・通信のDX
現場が変わる、サービスが変わる

- 10 パナソニック システムソリューションズ ジャパン
14 NHK放送技術研究所
16 東急
18 プラットイーズ&プラットフォーム
20 「Inter BEE 2020 ONLINE」注目の最新ソリューション
ラムダシステムズ/JVCケンウッド/パナソニックグループ/朋栄
Inter BEEセミナープログラム

Pick-up Channel

6 時代劇専門チャンネル

Close-Up Cable TV

- 26 上越ケーブルビジョン “民間設置×民間運営”アンテナショップ「雪國商店」
28 TOKAIケーブルネットワーク『4K静岡絶景 富士山と雲海篇』

Special Reports

- 46 「通信・放送Week」
50 「熱い視線が注がれるVR/AR/MR業界の現状と展望」 取材・文/神谷直亮

Oversea Report

- 48 「APSCC2020」 取材・文/神谷直亮

Series Articles and Columns

- 30 ケーブルインターネットToday and Tomorrow〈最終回〉文・山添亮介
32 放送ビジネスの政治経済学 ④3 文/音 好宏
34 メディアまんだらげ ④9 『ケーブル年鑑2021』を読む① 取材・文/猪股英紀
40 メディア・リサーチ ～メディア企業の経営ビジョン～ 岐路に立つテレビメディア(上) 文/鈴木祐司
42 地産飛翔～ケーブルビジネス関連動向
(気になるトピック / 機器チェック!)
52 アジア衛星TV最新情報 ②2 文/長瀬博之
54 日本で受信可能なアジア衛星TV一覧
59 Official Information
日本ケーブルテレビ連盟/日本ケーブルラボ/日本CATV技術協会/ケーブルテレビ情報センター(CRI)
62 考えるメディア ②2 文/福田 淳
63 ワハハ本舗 喰始のエンターテインメントのツボとボツ ③6 文/喰 始
64 Information 新作映画紹介 & サテマガ/SSK共催セミナー
65 NEWS FILE 2020年10月1日～10月30日



セミナー情報

- 25 サテマガBIオンラインセミナーのご案内

DATA

- 38 CS-CHANNEL RANKING
71 購読オーダーシート
72 定期購読のおすすめ
73 Back Number

〈読者の皆さまへ〉

「DATAページ」(各プラットフォーム別加入状況および業界動向データ、CS/BSバイテレ視聴率ランキングなど)の掲載を今号も見送ることとなりました。上記各種データは、誌面には掲載していませんが、11月10日に弊社HP(<http://www.satemaga.co.jp/>)にPDFにてアップしております。お手数ですが、こちらから閲覧くださいますようお願い申し上げます。

2020年11月10日

サテマガ・ビー・アイ(株) 月刊「B-maga」発行人 一瀬悦子／編集長 池和田一里



有料放送&VODビジネスがわかる! 新社会人にもオススメの一冊

メディア融合時代到来!
【コンテンツ至上主義】視聴者が「選ぶ」メディアは?

多チャンネル放送研究所 + 音 好宏(上智大学教授&多チャンネル放送研究所所長)編著

急速に台頭してきた有料動画配信サービス(OTT)の利用実態や、その潜在的ニーズ等を明らかにするとともに、多チャンネル放送に与える影響、多チャンネル放送とOTTとの関係等を分析。メディア融合時代の多チャンネル放送の今と未来を読み解きます。

定価:2,200円(税別)

- 編著:多チャンネル放送研究所 + 音 好宏所長
- 編集・発行:サテマガBi
- 発行日:2016年12月25日
- ページ数:182ページ
- サイズ:A5判



※購入は大手書店、Amazon、サテマガBi HPにて

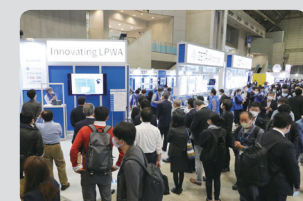


CLOSE SHOT

「通信・放送Week」の会場の様子

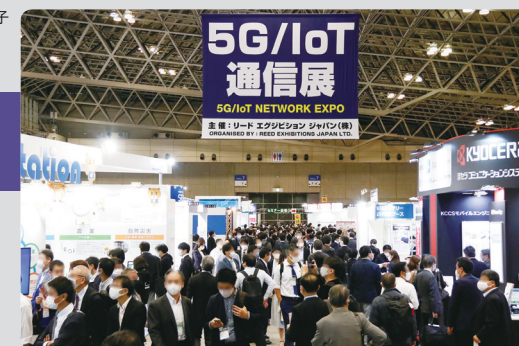
「第5回 通信・放送Week」が10月28日～30日実施
コロナ禍のなか、9,000人以上を集客

2020年10月28日～30日に、「第5回 通信・放送Week」が幕張メッセにて開催された。今年は新型コロナウイルス感染症拡大により、全世界で展示会が中止もしくは延期となった。



放送関係だけでなく、4月の米国ラスベガスで「NAB2020」、6月の「ケーブル技術ショー」、9

月のオランダ「IBC」、10月の「CEATEC 2020」がそれぞれリアルイベントを中止し、オンライン展示会をシフト。11月の「Inter BEE2020」もオンライン開催として実施される。そのようななか、「通信・放送Week 2020」がリアルイベントとして開催された。120社が出展し来場者数は昨年比65%減(前年来場者数:2万6,431人)の9,252人となった。なお、幕張メッセで同時開催された「Japan IT秋」と「AI・人工知能EXPO 秋」には、それぞれが2万2,314人、8,449人が来場した。コロナ禍の影響を色濃く受ける



結果となったものの、展示内容は従来通り、先端技術が集結したものには変わりはない。

「通信・放送Week」のレポートをP46&47にて掲載しています。また、サテマガBiのHPでは、動画を交えたレポートを掲載予定です。こちらもチェックしてください。